

20260408_始業式

おはようございます。新しく第九中学校の校長になった、吉岡です。簡単に自己紹介します。

前任校は三中です。その前は十一中です。そして、その前は新田小学校でした。その時に何度か九中に来たことがあります。今回初めて校舎の中を案内してもらい、歩きました。とても広くて迷いそうです。

元々、中学校で国語を教えていました。と言っても、大学では古典を中心に勉強していたので、教師になって、さまざまなことを必死で勉強したことを、懐かしく思ったりします。

ひとまず、自己紹介はこれくらいにして、始業式の挨拶に入ります。

先生方は、生徒のみなさんを新たな学年で迎えるために、この春休みの間、準備を進めてきました。

そして、昨日、無事入学式が終わりました。新たに327名の九中生を迎えることができました。会場の準備など、新3年生のみなさんをはじめ在校生の皆さん、本当にありがとうございました。

一つの行事や取組みの裏では誰かが動いてくれているということを忘れないようにしましょう。

さて、新たな学年が始まるにあたって、一つのことばを紹介します。

みんなは好きな言葉はありますか？今まで出会った本やドラマ、出会った人からもらった言葉はありますか。

私の好きな言葉は「やらなければできない」という言葉です。

よく、「やればできる」と言います。聞いたことがある人もいれば、言われたことがある人もいるのではないのでしょうか。

でも、国語的にはおかしい言葉です。

やってもできるかどうかわかりません。できるかもしれないし、できないかもしれない。

でも、はっきりと分かっていることは、やってみないと、始めてみないと、何も始まらない。

だから、「やればできる」ではなく「やらなければならない」です。

やってみることで、成功しても、そして失敗であっても、そこから学ぶものはたくさんあるはずです。

さまざまなことに挑戦してほしいと思います。

さあ、今日からは、3学年揃っての新学期がスタートします。

九中の教育目標は「しなやかに つよく」です。

さまざまな状況にも、柔軟に対応し、誰にとっても、安心して居心地がよく、仲間どうしが繋がれる、そして、さまざまなチャレンジを通じて、自分が、まわりが成長していける九中を一緒に作っていきましょう。

これで、始業式のお話を終わります。